

法蔵館書店ニュース 4月

目次

話題の本 P1
法蔵館新刊案内 P2~3
法蔵館重版案内 P4
法蔵館刊行予定案内 P4
法蔵館書店新着案内 P5~11

特集1:清沢満之全集 別巻Ⅱ発売 P12~13
特集2:ゆるっと仏教超入門 P14
お知らせ P15
法蔵館書店ベスト10・メール配信サービスご案内 P16

★お知らせ★ 4、5月の書店休業日

4月のお休み:11日・18日・25日 ※4/4(日)は営業いたします。

5月のお休み:2日・9日・16日・23日・30日

はじめました!

試し読み 冒頭数ページを読むことができます。

話題の本

●『東方』479号(2021年3・4月掲載)
『西遊詩巻—頼山陽の九州漫遊』
谷口 匡著・四六判・284頁・2,750円
ISBN:978-4-8318-7736-9

●図書新聞(2021/3/27掲載)
●中部経済新聞(2021/2/17掲載)
『近代の仏教思想と日本主義』
石井公成監修
近藤俊太郎、名和達宣編
A5判・572頁・7,150円
ISBN:978-4-8318-5560-2



●中国新聞[朝刊](2021/3/8掲載)
『ことばの向こうがわ』
—震災の影 仮設の声—
安部智海著・四六判・133頁・1,210円
ISBN:978-4-8318-8180-9

●東京新聞[朝刊](2021/3/8掲載)
●中日新聞[朝刊](2021/2/23掲載)
『仏教百人一首』
—万葉の歌人から宮沢賢治まで—
大角 修編著・四六判・250頁・1,540円
ISBN:978-4-8318-5717-0

●信濃毎日新聞[朝刊](2021/3/13掲載)
●秋田魁新報[朝刊]、●熊本日日新聞[朝刊]
●下野新聞[朝刊]、●愛媛新聞(2021/2/28掲載)
●東奥日報、●北國新聞(2021/2/27掲載)

法蔵館文庫 『悟りと解脱』

—宗教と科学の真理について—
玉城康四郎著、丘山 新解説・文庫判・256頁
1,100円・ISBN:978-4-8318-2619-0

●中日新聞[朝刊](2021/2/23掲載)
●東京新聞[朝刊](2021/2/22掲載)

『法話のきほん』

伊東恵深著・四六判・138頁・1,430円
ISBN:978-4-8318-8776-4

●静岡新聞[朝刊](2021/2/21掲載)

『室町時代の祇園祭』

河内将芳著
四六判・248頁・1,980円
ISBN:978-4-8318-6263-1



●中外日報(2021/2/19掲載)
『「ぞめき」の時空間と如来教』

—近世後期の救済論的転回—
石原 和著・A5判・370頁・4,950円
ISBN:978-4-8318-6264-8

※4月号より価格表示は全て税込価格です。

◆流行神

佛教大学研究叢書41

【民俗学】

——民間信仰におけるハヤリ・スタリとそのメカニズム

村田典生著・A5判・240頁・6,050円・ISBN:978-4-8318-6270-9

流行神はどのように現れるのか。近世から近現代に顕現したプロセスを寺社、地域、参拝者、歴史や民間信仰との関係等から解明する。

■目次

- 第一章 流行神研究史の回顧と課題
- 第二章 流行りだす神仏—その構造と思想—
- 第三章 近世「医療信仰」に見る流行神の展開過程
- 第四章 「金運」をめぐる流行神の顕現 ほか



◆唐招提寺第二十八世凝然大徳御忌記念 凝然教学の形成と展開

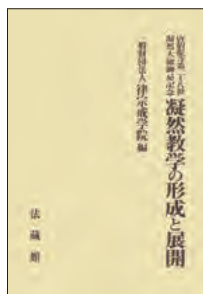
【仏教】

一般財団法人 律宗戒学院編・B5判・462頁・11,000円
ISBN:978-4-8318-6242-6

華嚴・律を中心に多岐にわたる著述を残した凝然。その多彩な著作活動を検討し、凝然教学の全体像を仏教学・歴史学の観点から解明。

■目次

- 第一部 凝然の教学とその周辺
- 第二部 唐招提寺・東大寺戒壇院における教学・儀礼の展開



試し読み



執筆者一覧

西山明彦／藤丸 要／大谷由香／中西俊英／佐藤 厚／前川健一／
小野嶋祥雄／佐竹真城／石井公成／苫米地誠一／横内裕人／追塩
千尋／高田 悠／鈴木雄太／野呂 靖／西谷 功

◆新装版 大無量寿経——《他力本願》

【仏教／真宗】

石上玄一郎訳著、結城令閑解説・四六判・239頁・2,200円
ISBN:978-4-8318-6579-3

浄土教の根本經典である『大無量寿経』。作家による現代語訳と仏教学者の解説を収載したわかり易い入門書が、新装版にて復刊。

■目次

- 他力本願—大無量寿経—
- 一 他力への道
- 二 大無量寿経の構成と内容
- 三 現代語訳に就いて ほか

試し読み



◆パーリ語文法——仏典の用例に学ぶ

【語学】

ショバ・ラニ・ダシュ著・A5判・328頁・4,400円
ISBN:978-4-8318-7735-2

最古のパーリ語文典『カッチャーヤナ』に基づく解説と仏典由来の豊富な文例。初学者から上級者まで実践に役立つ文法基礎30課。

■目次

- 第1課 パーリ語の紹介;文字と発音
- 第2課 連声法(sandhi)(1)
- 第3課 連声法(sandhi)(2)
- 第4課 品詞;名詞の格変化(1)
- 第5課 動詞 ほか

試し読み



◆宗教性の人類学

【人類学】

——近代の果てに、人は何を願うのか

長谷千代子、別所裕介、川口幸大、藤本透子編・A5判・420頁・4,400円
ISBN:978-4-8318-5718-7

日本の戦没者慰霊や道德教育、沖縄の聖地巡礼、カザフスタンの聖者崇敬、チベットの生態文化、中国の儒教。これらは宗教か、それとも文化的なムーブメントか。

■目次

- 序 論 いま、宗教をめぐるなにが問題なのか
(長谷千代子)
- 第一部 宗教研究の歴史と現在
- 第二部 革命思想の経験
- 第三部 日本的経験
- 終 章 宗教性の領域で考える
(川口幸大、別所裕介、藤本透子)

試し読み



◆対話哲学としての道元思想

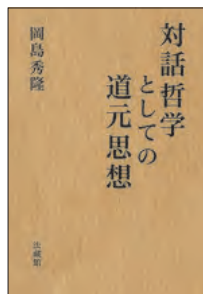
【禅宗／思想史】

岡島秀隆著・A5判・432頁・11,000円
ISBN:978-4-8318-4567-2

道元の教説を西洋哲学等と比較して解釈し、教説・思想の相互理解と理解の深化を進める比較解釈学的方法から考察。

■目次

- 序
- 第一編 対話哲学としての道元思想
- 第二編 道元教説と比較思想—対話の可能性を求めて—
- 第三編 道元教説と現代社会



法蔵館重版案内

◆密教大辞典 縮刷版 12刷 【密教】

密教辞典編纂会編・A5判・2,768頁・27,500円
ISBN:978-4-8318-7020-9

従来の『密教大辞典』全6巻と同一の内容を一冊におさめたコンパクト判。密教の教相事相のすべてを懇切に解説、密教研究者はもとより仏教学・仏教史の研究者にも必備の権威ある辞典。



法蔵館刊行予定案内

〈2021年5月 刊行予定〉

◆〈方法〉としての思想史 法蔵館文庫 【思想史】

安丸良夫著、谷川 穰解説・文庫判・368頁・1,430円・ISBN:978-4-8318-2622-0

安丸史学が対峙し、目指したものは。自身の研究を回顧・省察した論考を中心に収め、その思想的格闘の軌跡を示す歴史学徒必読の書。

◆ポストモダンの新宗教 法蔵館文庫 【宗教学】

——現代日本の精神状況の底流

島藺 進著・文庫判・352頁・1,320円・ISBN:978-4-8318-2621-3

1970年代以降に誕生・発展した「新新宗教」の特徴を解説し、「新新宗教」を日本・世界の宗教状況とリンクさせることで、現代宗教論に一つの展望を与えた画期的労作。

◆新装版 親鸞の人生観——教行信証真仏弟子章 【仏教／真宗】

金子大榮著・四六判・251頁・1,980円・ISBN:978-4-8318-6577-9

親鸞の著『教行信証』信巻 真仏弟子章の講話。難解な仏典引用を解き明かし、親鸞思想を読み解く名著が約50年振りに新装版として復刊。

◆吉田久一とその時代 【仏教史／社会事業史／近現代】

——仏教史と社会事業史の探求

大谷栄一、大友昌子、永岡正己、長谷川匡俊、林 淳編・A5判・552頁・5,500円
ISBN:978-4-8318-5563-3

近代仏教史と社会事業史／仏教社会福祉史の確立者・吉田久一の学問を読み直し、今後の研究に不可欠な視座を提供する画期的学術論集。

法 藏 館 書 店 新 着 案 内

教行信証化身土巻講義

◆親鸞の出遇った世界 浄土真宗I

平野 修述、「平野修師講義集」編集実行委員会編・A5判・375頁
2,530円 〈真宗大谷派大阪教務所〉

大阪教区教学研修院の基調講義として8年間、全46回にわたり行われた「化身土巻講義」を全5巻にわけて収録。「化身土巻」の内容から、仏教の歴史、そして親鸞聖人のみ教えを徹底的に俯瞰し、私たち自身に問いを投げかける平野修師の思想の集大成とも言える書。



◆親鸞聖人の自筆にふれる正信念佛偈

東本願寺出版編・B5判・55頁・1,100円 〈東本願寺出版〉

親鸞聖人が生涯推敲を重ねられた主著であり、聖人の自筆として国宝指定されている『教行信証』坂東本。本書はそこから真宗門徒のお勤めとして親しまれる「正信偈」の全文をオールカラーで掲載。朱書きや墨で塗り消してからの修訂など、自筆でなければ見ることのできない思索の跡をとおして、聖人のおこころにふれる一冊。



◆季刊せいてん No.134

浄土真宗本願寺派総合研究所編・B5判・66頁・700円
〈本願寺出版社〉

今回の特集は、「聖徳太子と親鸞聖人」。今年で没後1400年を迎える聖徳太子があらためて注目されています。実在した人物かどうかに関心が集まる太子ですが、本誌では、本誌らしく、親鸞聖人が太子をどのように見ておられたのかという切り口を中心に「聖徳太子」に迫っていきます。



岩波オンデマンドブックス

◆清沢満之全集 第八巻 ——信念の歩み——日記

小川一乗編者代表・A5判・498頁・10,560円 〈岩波書店〉

東京留学時代の明治16年から、大浜の地で終焉を迎える明治36年まで、21歳から41歳までの日記を収録する。京都での修道生活、結核療養の日々、宗門改革運動における煩悶など、清沢の内面を知る貴重な資料群。



◆溶け合う世界へ——南無阿弥陀仏のすくい2

瓜生 崇講述・A5判・36頁・110円

〈響流書房〉

宗教は「救われるもの」と「救われないもの」を分断する宿命から逃れられないのだろうか。著者は『無量寿経』の教えを通して、本当の大乘仏教とは、覚ったものも迷うものも、目覚めたものも目覚めぬものも、説くものも聞くものも、一切が「溶け合う世界」をもって衆生を救うのだと読み解く。コロナ禍で行われたオンライン法話会の内容を書き起こした、阿弥陀仏のすくいの世界を、平易な言葉で優しく説き明かす入門書。

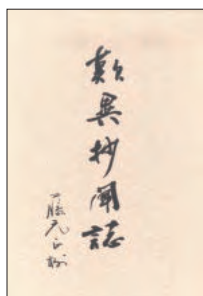


◆歎異抄聞誌

藤元正樹著・A5判・470頁・7,150円

〈藤元正樹刊行会〉

本書は、たつみ市新宮町圓妙寺にて、1976(昭和52)年9月14日から1996(平成8)年1月13日まで、足かけ20年にわたり行われた講義の事前の思索ノートである。



宝島社新書595

◆名僧のことばでわかる仏教入門

釈 徹宗監修・新書判・207頁・1,298円

〈宝島社〉

独自の発展を遂げた日本仏教。僧侶たちは釈迦の教えを実践し、真理を説き、日本人の思想と倫理に大きな影響を及ぼした。飛鳥・奈良時代から江戸時代までの名僧30人の軌跡と残したことばを通じて、日本仏教の叡智を読み解く。気鋭の比較宗教学者、釈徹宗氏の監修で、最澄=伝教大師1200年大遠忌を期して刊行する。



角川ソフィア文庫G119-2

◆増補 仏典をよむ——死からはじまる仏教史

末木文美士著・文庫判・414頁・1,232円

〈KADOKAWA〉

大きな災害やコロナ・パンデミックを経て、あらためて仏典の智慧が注目されている。仏教学・思想史の第一人者による案内と、親しみやすい訳で読み解く。「遊行経」から「法華経」「般若心経」「教行信証」「正法眼蔵」に至るまで、仏典の起源は、ブッダの「遺言」に遡る。増補「仏典をよむ視座」を収録し、直近10年間の新たな研究成果を加えた。



◆生きるのがつらいときに読む ブッダの言葉

光澤裕顕著・A5判・215頁・1,430円

〈SBクリエイティブ〉

本書では、私たち現代人が直面しがちな悩みをマンガにし、その問題の本質をブッダの言葉を軸に解説しています。現役僧侶でマンガ家・イラストレーターというユニークな経歴の著者が、みなさんの心をフワッと軽くしてくれるでしょう。

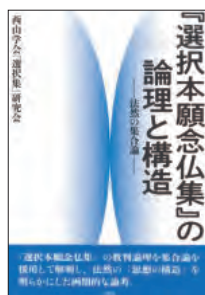


◆『選択本願念仏集』の論理と構造 ——法然の集合論

西山学会『選択集』研究会著・A5判・81頁・1,100円

〈白馬社〉

建久9年(西暦1198年)に著されて以来、現代に至るまで繰り返し出版されてきた法然の名著「選択本願念仏集」。その教判論理を集合論を援用して解明し、法然の「思想の構造」を明らかにする。



◆上座部仏教における聖典論の研究

清水俊史著・A5判・410頁・9,900円

〈大蔵出版〉

ブッダゴーサは偉大なる思想家か？ それとも傑出した註釈家か？ 膨大な仏典群の中で、唯一、その構成と範囲を明示し得るとされる上座部パーリ三蔵。古代から中世にかけて、その担い手たちが、どのような「聖典観」を抱いていたのかを、三蔵の形成過程、仏説化理論、書写聖典の位置づけ等、最重要の視座から浮き彫りにする。



◆仏教事典

日本仏教学会編・A5判・699頁・26,400円

〈丸善出版〉

日本仏教学会編集による「読む」中項目事典。仏教の基本的な定義から現代社会における仏教の社会的実践までが幅広く見渡せる内容となっている。また、仏教のこれまでの歩み(歴史)やその思想内容や文化における役割にも各章を割いて解説する。付録も日本仏教学会加盟31校の紹介のほか、代表的な13宗の宗派系統図など充実した内容となっている。

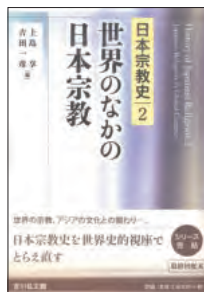


日本宗教史2

◆世界のなかの日本宗教

上島 享、吉田一彦編・A5判・342頁・4,180円 〈吉川弘文館〉

日本の宗教史は世界においてどのような特色を持つのか。キリスト教やイスラーム教、儒教を信仰する地域と比較。妻帯、葬送、信仰、時空意識などを考察して、アジア史、そして世界史のなかに日本宗教史を位置づける。



歴史文化ライブラリー518

◆東大寺の考古学

——よみがえる天平の大伽藍

鶴見泰寿著・四六判・222頁・1,870円 〈吉川弘文館〉

聖武天皇が造営した東大寺の創建当初の面影は、今日までどれほど残り、当時どのような伽藍だったのか。文献や絵画資料の検証と、最新の発掘調査の成果を手がかりに、奈良時代の東大寺の実像に迫る。



大安寺歴史講座4

◆奈良時代の大安寺

——資財帳の考古学的探究

上原真人著、南都大安寺編・四六判・198頁・1,980円〈東方出版(大阪)〉

「大安寺伽藍縁起并流記資財帳」を丹念に読み、奈良時代の大安寺が行った宗教・経済活動の実体を解明する。前著「古代寺院の資産と経営」の誤りを訂正し不足を補い、資財帳が語る奈良時代の大安寺をさらに深く探究した一冊。

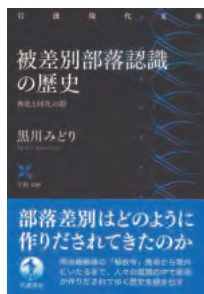


岩波現代文庫 学術430

◆被差別部落認識の歴史

黒川みどり著・文庫判・416頁・1,782円 〈岩波書店〉

差別をする側、差別を受ける側の双方は部落差別問題をどのように認識してきたのか——明治維新後1871年の「解放令」発布から現代にいたるまで、人々の意識の中で部落差別が作りだされてゆく歴史を描き出し、その後の被差別部落研究に大きな影響を与えた名著、待望の文庫化。原著刊行後の動向を分析した補章を加える。



◆宗教と風紀——〈聖なる規範〉から読み解く現代

高尾賢一郎、後藤絵美、小柳敦史編・A5判・356頁・6,490円〈岩波書店〉

法や規則として、あるいは暗黙の了解として、社会のなかで守ることを期待されるルール＝〈風紀〉。宗教とのかかわりを軸に、その複雑でダイナミックな動態を読み解く。エジプト、イラン、ウズベキスタン、中国、フランス、ドイツ、サウジアラビア、アメリカ、日本、そしてイスラーム国まで、新たな領域を拓く共同研究。



岩波新書 新赤版1867

◆ヒンドゥー教10講

赤松明彦著・新書判・256頁・990円

〈岩波書店〉

古代のパラモン教、さらには四千年前のインダス文明にまで遡るとされるインドの宗教思想はきわめて複雑だが、その教えは密教儀礼や帰依観念など、日本の宗教にも通ずる面をもつ。本質論に陥らず、歴史的・地域的・社会的な重層性に注意しながら、丁寧なテキスト読解によってヒンドゥー教の思考と実践をとらえる、体系的入門書。



岩波オンデマンドブックス

◆日本中世のムラと神々

大山喬平著・A5判・543頁・14,300円

〈岩波書店〉

古代の郷里制、中世の荘園制、近世の村落など制度上の仕組みとの関係に留意しながら、中世のムラを中心に、ムラの持続性とムラの生活を支えてきた「神々」について論じる。中世史研究の泰斗による画期的論集。



◆奇祭巡礼

北條秀司著・四六判・287頁・2,200円

〈淡交社〉

無類の祭り好きであった劇作家・北條秀司氏が、実際に訪れて体験した祭りの紀行文。「うじ虫祭り」や「笑い祭り」、「蛙飛び」、「野馬追い」……軽妙な文体で各地の習俗を描き出した名著を復刊。昭和44年(1969)9月の刊行そのままに、巻頭口絵は当時の写真を掲載、巻末の「行事のしるべ」は現代の情報をもとに再構成。また、北條氏が遺した膨大な資料を整理した東海大学教授・馬場弘臣氏の解説で、資料から明らかになった著者の素顔に迫ります。



◆真鍋俊照著作集 第一巻

——密教の風景 邪教・立川流

真鍋俊照著・A5判・414頁・6,600円

〈筑摩書房〉

60年に及ぶ密教研究、密教美術研究の集大成。

第1巻は、密教の概説の巻になる。「風景学」の視点を導入し、密教の世界観を知るよすがとするために平安時代末期の僧・仁寛の見た原風景の再現を試みる。また、密教の核心に迫ったがゆえに、弾圧を受け消滅せざるをえなかった「真言立川流」の研究を収録する。



◆心が伝わる「法話抄」——枕経・通夜・法事

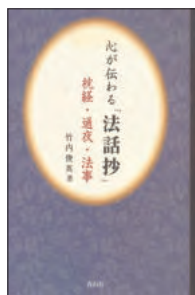
竹内俊英著・A5判・255頁・4,180円

〈青山社〉

「お寺の話は堅苦しく、ムズカシイ」と思われがちな「法話」から、聞く人の心を暖かくする「法話」へ——葬儀・法事に、愛語を尽す100余話。

本書の特色

- 聞く人の心を柔らかくする法話
- しあわせの道を教える法話
- さまざまな活用ができる布教話材集



◆ワイド判 般若心経手帳

平山郁夫画、中村 元訳、堀内伸二編著・A5変判・143頁
1,540円

〈東京書籍〉

「人生という旅」をテーマに、日本人に最も愛される経典「般若心経」を、中村元の現代語訳や玄奘三蔵をめぐる平山郁夫の壮大な仏教画とともにたどる。好評の手帳判書籍を判型をひとまわり大きく、さらに見やすく、読みやすくしたワイド判！



◆日蓮聖人「五大部要義」

本多日生講述、土屋信裕編・四六判・333頁・3,080円 〈海鳥社〉

仏教の近代化を成し遂げ、日本の思想界をも統率した英傑・本多日生師が、日蓮聖人の教えを説いた『聖訓要義』（大正8年刊）。そのうち、特に重要な日蓮聖人の御遺文（『立正安国論』『開目抄』『観心本尊抄』『撰時抄』『報恩抄』=五大部）についての講述を現代語訳し、昨今の社会情勢も交えながら分かりやすく説く。



◆ほっとする 仏像図鑑

田中ひろみ著・新書判・189頁・1,210円

〈リベラル社〉

持ち物や立っている台の意味など、押さえておきたい基礎知識から、有名な仏像の特徴まで解説。

仏像イラストレーター・田中ひろみさんのイラスト&解説で、仏像の見どころもわかりやすい!



法蔵館書店新着雑誌案内

◆同朋 4月号

〈東本願寺出版〉

真宗大谷派宗務所出版部編・A4判・56頁・400円

「仏教がみちびく、あらたな人生」をコンセプトに、生活に密着した話題から親鸞聖人の教えまで、日々の暮らしのなかにある大切なことを見つめる月刊誌。

■目次

◎インタビュー 片桐はいりさん(俳優)

「なんだこれは?!」を見つけることが私にとっての喜び。

◎特集 妖怪がおもしろい!

【新連載】和讃の響き——親鸞の声を聞く……吉元信暁

【新連載】小林聡美のぼちぼちは好日 ほか



◆大乘 4月号

〈本願寺出版社〉

大乘刊行会編・B5判・88頁・375円

門信徒の家族が楽しく浄土真宗に親しむための月刊誌。お念仏のよろこびをご家族のみなさまにお届けします。研修会や勉強会にも最適! 門徒推進員の方にもおすすめです。

■目次

・いのちのえほん「拝みあういのち お念仏」……なかがわあきら×ひじみえ

・お坊さん み跡をめぐるpart2 「慈願寺」

【新連載】マンガ お釈迦さま物語……岡橋徹栄×一ノ瀬かおる

【新連載】教えて!浄土真宗「浄土真宗」という宗名……藤澤信照

【新連載】死にかた 生きかた「おあじわい」……友久久雄 ほか



特集1 清沢満之全集 別巻Ⅱ 発売

2003年の『清沢満之全集』完結後、新たに発見された講義録・著述・書簡などをまとめた全2巻完結！ 別巻Ⅱでは、住田智見筆記の講義録「論理学講義」「心理学講義」、関根仁応筆記の講義録「哲学史」「近代史」「今世哲学史」、全集未収録の論文7本及び書簡18通、『宗教哲学骸骨』の英文自筆草稿を収録しています。

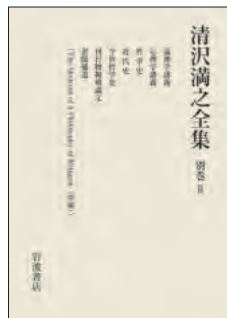
◆清沢満之全集 別巻Ⅱ

大谷大学編・A5判函入・448頁・8,140円(岩波書店)

【目次】

論理学講義
心理学講義
哲学史
近代史
今世哲学史

刊行物掲載論文
書簡補遺
〔The Skelton of a
Philosophy of Religion(草稿)〕

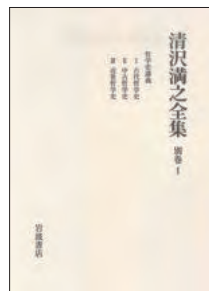


【好評発売中】

◆清沢満之全集 別巻Ⅰ

大谷大学編・A5判函入・416頁・7,260円(岩波書店)

名古屋市祐誓寺に保存されていた、住田智見筆記の清沢満之講義録三冊を収める。明治22年から25年にかけて行われた西洋哲学史の講義「古代哲学史」「中古哲学史」「近世哲学史」の筆録。



『清沢満之全集』 第一巻～第九巻

第一巻	宗教哲学	10,560円
第二巻	他力門哲学	11,000円
第三巻	哲学論集	9,680円
第四巻	哲学史研究	9,900円
第五巻	西洋哲学史講義	10,560円
第六巻	精神主義	9,020円
第七巻	仏教の革新	10,560円
第八巻	信念の歩み一日記	10,560円
第九巻	信念の交流	12,100円(4月下旬入荷予定)

オンデマンド
ボックスで
復刊!

あわせて読みたい清沢満之関連書籍

◆清沢満之——生涯と思想

真宗大谷派学校連合会編・A5判・182頁・1,320円(東本願寺出版)

明治という激動の時代において、真宗大谷派教団の改革と宗教的真理の解明に取り組んだ近代真宗教学の先駆者、清沢満之の生涯とその思想について紹介する。



◆人物叢書 清沢満之

吉田久一著・四六判・267頁・2,200円(吉川弘文館)

清沢満之は近代信仰の第一の樹立者であり、また日本哲学の基礎を築いた傑人でもある。本書は、日本近代思想史研究の立場から、彼の生涯をたどり、従来真宗教団内に孤立しがちだった満之を、本来あるべき位置に正しくすえただけでなく、宗教信仰や哲学的思索の難問を、実地踏査と適正な史料操作によって見事に解決している。



◆清沢満之——その人と思

藤田正勝著、安富信哉編・四六判・294頁・3,080円
ISBN: 978-4-8318-7859-5 (法蔵館)

仏教と西洋思想の架け橋となった近代日本哲学のパイオニア・清沢満之。「精神主義」により仏教を再生させた宗教者である彼の思想とその現代的意義を、新視点から解明する。没後100年記念出版。



◆清沢満之と近代日本

山本伸裕、碧海寿広編・A5判・285頁・3,080円
ISBN: 978-4-8318-5550-3 (法蔵館)

清沢満之の思想が同時代と後世に与えた影響にも着目し、今後の清沢研究に新たな視座を提供する刺激的な研究入門書! 中島岳志氏推薦!



清沢満之の関連書籍

※品切れの書籍もございます。

詳しくは
コチラ!



特集2 ゆるっと仏教超入門

入学式・新学期・新生活など、始まりの季節である春は、新しく何かを始めるにはピッタリの時期。この機会に、仏教への入門をゆるっと始めてみませんか？

◆だれでもわかる ゆる仏教入門

松崎智海著・四六判・207頁・1,430円(ナツメ社)

仏教界のインフルエンサー、松崎智海が仏教の教えをやさしく解説。お釈迦様の生い立ちから、仏教の考え方、お寺と仏事の素朴なQ&Aまで、ゆる〜く解説します。また、現代人の悩みに仏教の教えで答えるコーナーや、七大宗派の僧侶が語るそれぞれの開祖の魅力など、これまでの本にはない魅力も満載です。



◆キャラ絵で学ぶ! 仏教図鑑

山折哲雄監修、いとうみつる:絵、小松事務所:文
A5変判・143頁・1,760円(すばる舎)

お釈迦様が人間の悩みや苦しみを解き明かし、苦悩から解放されて幸せに生きるにはどうすればよいか、その実践法を説いたのが仏教です。日本の長い歴史の中で、この国の文化基盤の一つになっています。本書はその仏教のエッセンスを、小学生にもわかるようにユーモアあふれるイラストと言葉で解説した「超入門」です。



※同シリーズ「キャラ絵で学ぶ! 地獄図鑑」(1,760円)も好評!

◆ゆる仏道

ヒフミヨイ著・A5判・142頁・1,100円(イースト・プレス)

繊細で悩みがち、生きづらさを感じる……そんなあなたへマンガでゆるっと解説。ブッダの教えを、ゆるっと生活に取り入れることで心が和らいで、気楽に生きることができる。そんな、宗教というよりも「気楽に生きる心の整理術」としての仏道。仏教用語を交えつつ、マンガでわかりやすく紹介します。



◆気になる仏教語辞典

麻田弘潤著・A5判・199頁・1,650円(誠文堂新光社)

「愛」「大丈夫」「煩惱」といった日常生活の言葉をはじめ、「四苦八苦」「仏の顔も三度まで」など、仏教由来のものはそこかしこにあります。多岐にわたる用語を集め、仏教を知識として学びたい人にも必見の一冊。ふと笑みがこぼれ、強くなずきくなる「仏教用語」の魅力を、イラスト×辞典でお届けします。



お知らせ

中外日報「宗教文化講座」

法蔵館書店 協賛

テーマ:「法華經の行者に学ぶ——日蓮聖人生誕800年記念」

第1回 **リモート可**

4月10日(土)「『法華經』と現代日本」

法蔵館書店出店します。〈龍谷大学響都ホール校友会館(JR京都駅八条口・徒歩5分)・定員:150〉

宗教評論家 ひろ さちや氏

第2回 **リモート可**

5月15日(土)「日本仏教における法華信仰の変遷」

〈池上本門寺「朗峰会館」(東急池上線池上駅から徒歩15分)・定員150〉

東京大学 人文社会系研究科教授 荻輪顕量氏

第3回 **リモート可**

9月11日(土)「戦国仏教と京都——法華宗・日蓮宗を中心に」

〈しんらん交流館・大谷ホール(JR京都駅中央口から北へ徒歩12分)・定員:120〉

奈良大学 文学部教授 河内将芳氏

第4回 **リモート無**

10月9日(土)「日蓮主義とはなんだったのか」

〈京都新聞文化ホール(地下鉄烏丸線丸太町駅7番出口すぐ)・定員:120〉

佛教大学 社会学部教授 大谷栄一氏

※受講申し込み・お問い合わせ ⇒ 中外日報社営業企画部

〒601-8004 京都府京都市南区東九条東山王町9番地

TEL: 075-682-1625 FAX: 075-682-1722

Eメール: shuppan@chugainippoh.co.jp

希望する講座、氏名、年齢、住所、電話番号をご記入の上、ハガキ、FAX、メールでお申し込みください。

●受講料は1講座1,000円(税込)、リモート参加も同額

※リモート参加(Zoom)のお申し込みは、中外日報社上記のメールアドレスに「リモート参加」と明記の上、希望する講座、氏名、住所、メールアドレスをお知らせください。

※2020年の講座の受講票をお持ちの方は、そのままお使いいただけます。

期間限定
法蔵館

HOZOKAN Spring Book Festival
春の本まつり

様々な書籍が並びますので、この機会をお見逃しなく!

期間…4月2日(金)～4日(日)

時間…10:00～17:00(最終日は16時迄)

場所…法蔵館

同時開催・特別企画

◆一箱古本市コーナー

◆出張出展(版元の窓)



手指の消毒液を設置します。



マスク着用にご協力ください。

◆◆◆法藏館書店売行ベスト10(3月期)◆◆◆

順位	書名	著者名	出版社名	定価(税込)
1	溶け合う世界へ——南無阿弥陀仏のすくい 2	瓜生 崇	響流書房	110円
2	南無阿弥陀仏のすくい	瓜生 崇	響流書房	110円
3	1000の言葉	方丈堂出版 編集部	方丈堂出版	1,650円
4	歎異抄 救いのことば【文春新書1283】	釈 徹宗	文藝春秋	1,045円
5	仏教の誕生【河出新書23】	佐々木閑	河出書房新社	880円
6	築地本願寺の経営学——ビジネスマン僧侶にまなぶ 常識を超えるマーケティング	安永雄彦	東洋経済新聞社	1,760円
7	信心の書『歎異抄』講座——自己をみつめ、弥陀の本願に出会う	三明智彰	大法輪閣	2,530円
8	第50回鸞音忌記念法話集 浄土得生の正信	曾我量深	順照寺	1,000円
9	法話のきほん	伊東恵深	法藏館	1,430円
10	令和版 仏の教え——阿弥陀さまにおまかせて生きる	大谷光淳	幻冬舎	1,430円

【メール配信サービスのご案内】

法藏館書店では、WEBサイトで本をご購入いただいた方やアンケートにお答えいただいた方に新刊情報などのメール配信サービスを行っております。

◎アドレス変更・配信停止について◎

<http://www.hozokan.co.jp>のページ下の「メールサービス」から、メールアドレスの登録と解除を行ってください。過去のメールもご覧になれます。

◆ご注文・お問い合わせは、メールの他に、電話・FAX・はがきでも承ります。
店頭在庫がない場合はお取り寄せとなります。ご了承ください。

◆荷送料はご購入額合計により
定価16,500円(税込)未満 送料——450円 代引手数料 330円
定価16,500円(税込)以上 送料、代引手数料ともに無料

◆価格表示は全て税込価格です。



おかげさまで410年を迎えることになりました。
仏教風土の都・京都に育てられた、わたしたち。
そよ風が花の香りを伝えるように、これからも、
仏教文化を伝える風でありたいと思います。

法藏館書店

住 所: 〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入

電 話: 075-343-0458 FAX: 075-371-0458

発行人: 西村明高

E-mail: shop@hozokan.co.jp

[営業日および営業時間]

月～土: 9:30～18:00

祝 日: 10:30～18:00

(休業日: 毎週日曜日・お盆・年末年始)

<http://www.hozokan.co.jp>

仏教の風 検索

仏教書総目録刊行会 <http://www.bukkyosyo.gr.jp>

法藏館ブログ「編集室の机から」を更新中!

twitter

facebook

つぶやき中〜!

